# (QR Code OTP c610)



「QR Code OTP c610 (以下、OTP c610 と言う)」は Web サービス提供者が発行する QR コードをス キャンし、ユーザーアカウントと紐づけ、MFA(多要素認証)用ワンタイムパスワードの生成を可能にする OTP トークンです。

従来の OTP トークンと異なり、「OTP c610」は内蔵カメラを備え、『Microsoft Authenticator』 『Google Authenticator』等、スマホアプリの代わりに、MFA プロセスの認証コード(数字 6 桁のパスワ ード)を生成する認証器(Authenticator)です。

本資料は Microsoft Azure ユーザーが「OTP c610」を設定し MFA を実現する方法を説明します。



## 【目次】

1.	OTP c610 の概要	3
1	.1. 各部の名称及び機能	3
1	.2. 重要な注意事項	3
2.	事前準備	3
2	.1. 準備1: Microsoft Azure ユーザー	3
2	2. 準備2:OTP c610 トークン	4
3.	OTP c610 を利用して AzureAD ヘログインする方法(ユーザー)	4
3	.1. 初期設定:OTP c610 の登録(初回のみ)	4
	方法 1:「Azure Portal」にアクセスして OTP c610 を登録	4
	方法 2: 「マイアカウント」にアクセスして OTP c610 を登録	. 10
3	.2. OTP c610 を利用して AzureAD にログインする方法	.12
4.	OTP c610 を利用しない場合(バインドの解除)	.14
<b>4.</b>	<b>OTP c610 を利用しない場合(バインドの解除)</b> .1. ユーザー自身で解除する方法	<b>.14</b>
<b>4.</b> 4	<b>OTP c610を利用しない場合(バインドの解除)</b>  .1. ユーザー自身で解除する方法 Step1: [マイアカウント]の「セキュリティ情報」より「認証アプリ」を削除	<b>14</b> 14 14
<b>4.</b> 4	<b>OTP c610 を利用しない場合(バインドの解除)</b>  .1. ユーザー自身で解除する方法 Step1: [マイアカウント]の「セキュリティ情報」より「認証アプリ」を削除 Step2: OTP c610の登録情報を削除	14 14 14 15
<b>4.</b> 4	<ul> <li>OTP c610 を利用しない場合(バインドの解除)</li> <li>.1. ユーザー自身で解除する方法</li> <li>Step1: [マイアカウント]の「セキュリティ情報」より「認証アプリ」を削除</li> <li>Step2: OTP c610 の登録情報を削除</li> <li>.2. 管理者側で強制解除する方法</li> </ul>	14 14 14 15 16
<b>4</b> . 4 5.	<ul> <li>OTP c610 を利用しない場合(バインドの解除)</li> <li>.1. ユーザー自身で解除する方法</li> <li>Step1: [マイアカウント]の「セキュリティ情報」より「認証アプリ」を削除</li> <li>Step2: OTP c610 の登録情報を削除</li> <li>.2. 管理者側で強制解除する方法</li> <li>運用方法</li> </ul>	14 14 15 16 17
<b>4</b> . 4 <b>5</b> .	<ul> <li>OTP c610 を利用しない場合(バインドの解除)</li> <li>.1. ユーザー自身で解除する方法</li> <li>Step1: [マイアカウント]の「セキュリティ情報」より「認証アプリ」を削除</li> <li>Step2: OTP c610 の登録情報を削除</li> <li>.2. 管理者側で強制解除する方法</li> <li>運用方法</li> <li>.1. ユーザーが OTP c610 を紛失した場合</li> </ul>	14 14 15 16 17
<b>4</b> . 4 <b>5</b> .	<ul> <li>OTP c610 を利用しない場合(バインドの解除)</li> <li>.1. ユーザー自身で解除する方法</li> <li>Step1: [マイアカウント]の「セキュリティ情報」より「認証アプリ」を削除</li> <li>Step2: OTP c610 の登録情報を削除</li> <li>.2. 管理者側で強制解除する方法</li> <li>運用方法</li> <li>.1. ユーザーが OTP c610 を紛失した場合</li> <li>Step1: [管理者] 紛失した OTP c610 の強制削除</li> </ul>	14 14 15 16 17 17
<b>4</b> . 4 <b>5</b> .	<ul> <li>OTP c610 を利用しない場合(バインドの解除)</li> <li>.1. ユーザー自身で解除する方法</li></ul>	14 14 15 16 17 17 17
<b>4</b> . 4 <b>5</b> .	OTP c610 を利用しない場合(バインドの解除)         .1. ユーザー自身で解除する方法         Step1 : [マイアカウント]の「セキュリティ情報」より「認証アプリ」を削除         Step2 : OTP c610 の登録情報を削除         .2. 管理者側で強制解除する方法         運用方法         5.1. ユーザーが OTP c610 を紛失した場合         Step1: [管理者] 紛失した OTP c610 の強制削除         Step2: [管理者] ユーザーに新たな OTP c610 を配布、「多要素認証の再登録」を設定         Step3: [ユーザー] 新しい OTP c610 の登録	14 14 15 16 17 17 17 17



## 1. OTP c610 の概要

1.1. 各部の名称及び機能



- 1.2. 重要な注意事項
- 1、OTP c610 の液晶画面はタッチパネルではないため、画面の下に表示されているボタンを押して、操作してください。
- 2、中央のボタンを3秒長押しすると、起動します。
   画面表示後は、中央のボタンを3秒長押しすると、電源がオフになります。
   1分間、無操作状態が続くと電源を自動的にオフになります。
- 3、OTP c610 は、最大 3 つのアカウントを登録することが可能です。
- 4、同一サービスが発行する認証用 QRコードを OTP c610 で複数回読取り登録した場合、最後の登録ののかが有効となり、先に登録されたアカウントでは認証が不可となります。
- 5、OTP c610 は QR コードを発行するすべてのサービスで利用できるものではありません。 <u>Microsoft MFA、Google MFA、SalesforceMFA</u>としてご利用ください。

## 2. 事前準備

下記を事前にご準備ください。

## 2.1. 準備1: Microsoft Azure ユーザー

Microsoft Azure のユーザーアカウントを準備してください。



## 3. OTP c610 を利用して AzureAD ヘログインする方法(ユーザー)

#### 3.1. 初期設定: OTP c610 の登録(初回のみ)

OTP c610を利用して、Microsoft AzureAD にログインするため、先ずは AzureAD ユーザーに OTP c610 を登録する必要があります。下記では、2つの方法で OTP c610 の登録方法を説明します。

#### 方法 1:「Azure Portal」にアクセスして OTP c610 を登録

Azure Portal (<u>https://portal.azure.com</u>)にアクセスし、ユーザーアカウント及びパスワードを入力してサインインします。



2、MFA(多要素認証)が設定されていない場合は、下記画面が表示されます。 [次へ]をクリックします。

Microsoft		
test@ftjptest.onmicrosoft.com		
アクションが必要		
組織のセキュリティを維持するために、セキュリティの既定値 群がオンになっています。 Microsoft Authenticator アプリを セットアップして、2 段階認証を使用してください。		
別のアカウントを使用する		
Microsoft Authenticator アプリに関する詳細情報		
これが必要になるまであと 14 日です。		
後で尋ねる 次へ		



3、下記画面にて「別の認証アプリを使用します」のリンクをクリックします。

アカウントのセキュリティ保護		
組織により、身元を証明するための次の方法を設定することが求められています。		
	2 のメソッド 1: アプリ	
	<b>2</b> アプリ	2 電話
Micros	oft Authenticator	
6	最初にアプリを取得します	
	お客様の電話に Microsoft Authenticator アプリをインス ド	トールします。今すぐダウンロー
	デバイスに Microsoft Authenticator アプリをインストー	ルした後、[次へ] を選択します。
	別の認証アプリを使用します	
		次へ

4、 [次へ]をクリックします。

アカウントのセキュリティ保護		
â	1織により、身元を証明するための次の方法を設定する。	ことが求められています。
	2 のメソッド 1: アプリ	
	<i>ו</i> ד <i>י</i> ד דע	2 電話
認証ア	プリ	
× 1 1 1	アカウントのセットアップ	
1 S	アプリで新しいアカウントを追加します。	
		戻る次へ

5、QRコードのスキャン画面が表示されます。 OTP c610 でスキャンの準備をするため、以下の画面は表示したままの状態にしてください。

アカウントのセキュリティ保護		
組織により、身元を証明するための次の方法を設定することが求められています。		
2 のメソッド 1: アプリ		
<b>(</b> ) アプリ	2 電話	
認証アプリ		
QR コードをスキャンします		
認証アプリを使用して QR コードをスキャンします。これにより、ご使用の認証アプリがアカウントに 結び付けられます。		
QR コードをスキャンした後、[次へ] を選択します。		
FINK CATY / Cd & C/UU:		



OTP c610 の中央のボタンを3 秒長押しすると、起動します。
 未登録の場合、画面に[+]のみが表示されます。



7、 [登録] に対応する中央のボタンを押すと、右の画面に遷移します。
 [次へ] に対応する中央のボタンを押します。
 ※ 英国本に見る場合は、「見る」に対応するため、た押してびざい

※前画面に戻る場合は、 [戻る] に対応する左のボタンを押してください。



8、 PC の画面に表示された QR コードに OTP c610 をかざして読取ります。 QR コードを読取り後、 OTP c610 にアカウント情報(メールアドレス)が登録されます。





9、[選択]ボタンに対応している中央のボタンを押すと、生成されたワンタイムパスワード(6桁の数字) が表示されます。



#### 10、PC 画面の [次へ] をクリックします。

アカウントのセキュリティ保護		
組織により、身元を証明するための次の方法を設定することが求められています。		
2 のメソッド 1: アプリ		
עי <i>ב</i> יד	2 電話	
認証アプリ		
QR コードをスキャンします		
認証アプリを使用して QR コードをスキャンします。これにより、ご使用の認証アプリがアカウントに 結び付けられます。		
QR コードをスキャンした後、[次へ] を選択します。		
■ かないな ■ かないない ■ かないのできませんか?		
	戻る 次へ	

### 11、コードの入力画面が表示されます。

OTP c610の画面に表示された6桁のコードを入力し、 [次へ] をクリックします。





携帯の電話番号を入力して、[次へ]をクリックします。

アカウントのセキュリティ保護		
組織により、身元を証明するための次の	方法を設定することが求められています。	
2 のメソッド 2: 電話		
マプリ	<b>②</b> 電話	
電話		
携帯ショートメール (SMS) によるコードの送信によ	り、本人確認ができます。	
この电話會与を使用しますか?		
この电話留号を使用しまりか? Japan (+81)	• 090	
200年店番号で使用しますか? Japan (+81) ・ コードを SMS 送信する メッセージとデータの通信料が適用される場合があ ます: サービス使用条件 および プライパシーと Cool	<ul> <li>090</li> <li>ります。(次へ)を選択すると、次に同むしたことになり kie に関する声明。</li> </ul>	
2004店留当を使用しまりか? Japan (+81) コードを SMS 送信する メッセージとデータの通信料が適用される場合があ ます: サービス使用条件 および プライパシーと Cool	✓ 090 ○ 090 <p< td=""></p<>	

※携帯電話のショートメール(SMS)ではなく、メールアドレスで本人認証する場合は、上記画面の左下 [別の方法を設定します]をクリックしてください。

メールで本人認証する場合も同様の進め方になります。

13、ショートメール (SMS) に記載された認証コードを入力して、 [次へ] をクリックします。

アカウントのセキュリティ保護		
組織により、身元を証明するための次の方法を設定することが求められています。		
2 のメソッド 2: 電話		
マプリ         (2)           電話         (1)		
電話		
+81 090 ^^ に 6 桁のコードをお送りしました。コードを以下に入力してください。 778089		
コードの再送信		
戻る 次へ		
別の方法を設定します		

14、正しく検証されると、下記の画面が表示されます。 [次へ] をクリックします。





飛天ジャパン株式会社
------------

15、 [完了] をクリックし、登録を完了します。

アカウントのセキュリティ保護		
組織により、身元を証明するための次の方法を設定することが求められています。		
2 のメソッド 2: 完了		
マプリ 電話		
成功		
セキュリティ情報が正常にセットアップされました。[完了] を選択し、サインインを続行します。 <b>既定のサインイン方法:</b>		
. 認証アプリ		
完了		

16、サインイン状態を維持する場合は、 [はい] をクリックしします。

Microsoft Azure		
Microsoft		
サインインの状態を維持しますか?		
これにより、サインインを求められる回数を減らすことができます。		
□ 今後このメッセージを表示しない		
いいえ <b>はい</b>		

17、Azure のトップ画面が表示されます。

Azure へようこそ! サブスクリプションをお持ちでない場合は、次のオプションをご確認ください。		
Azure の無料試用版から開始する Azure の製品とサービスに使用できる 200 ドルの無料クレジットを	Azure Active Directoryの管理	<b>学生特典へのアクセス</b> 教育機関ステータスの確認後、無料のソフトウェアまたは Azure ク

以上で初回設定(OTP c610 の登録)が完了しました。

次回以降、AzureAD Portal にアクセスする際はユーザーアカウント、PWD、OTP c610 より生成された コードをそれぞれ入力してログインします。





## 方法 2 : 「マイアカウント」にアクセスして OTP c610 を登録

上記の AzureAD Portal より設定する方法以外に「マイアカウント」にアクセスして、OTP c610 を登録 することができます。

- 下記 URL「マイアカウント」の「セキュリティ情報」の画面にアクセスします。 https://mysignins.microsoft.com/security-info ユーザーアカウントと PWD を入力します。
- 2、認証方法が設定されていない場合は、上記[3.1 初期設定: OTP c610 の登録(初回のみ)]の[2]~[15]をご参照いただき、OTP c610を登録してください。
   登録後、ステップ[9]より進めてください。

Microsoft Authenticator 及び電話の認証方法が既に設定されている場合は、下記のステップ で OTP c610 を追加することができます。



3、 [セキュリティ情報] ⇒ [+サインイン方法の追加] の順にクリックします。

← C A 🖒 https	s:// <b>mysignins.microsoft.com</b> /security-info			
… 自分のサインイン ∨				
<ul> <li>○ 板要</li> <li>♪ セキュリティ情報</li> <li>② 組織</li> </ul>	セキュリティ情報 これは、ご自分のアカウントへのサインイン 既定のサインイン方法: Authenticator アプレ	ペヤバスワードの再設定に使用する方法で しまたはハードウェア トークン - コード	च उ	
旦 デバイス 合 プライバシー	+ サインイン方法の追加 Microsoft Authenticator 多要異認証 (MFA) をプッシュする	CPH2199		削除
	▶ 電子メール	jing@ftsafe.co.jp	変更	削除
	デ <b>バイスを紛失した場合</b> すべてサインアウ	トしてください		

4、 [認証アプリ]を選択し、「追加」をクリックします。

方法を追加します	-		×
どの方法を使用しますか	?		
認証アプリ			$\sim$
		キャンセル	追加

#### 5、 [別の認証アプリを使用します] リンクをクリックします。

Microsoft	Authenticator	$\times$
	最初にアプリを取得します	
	お客様の電話に Microsoft Authenticator アプリをインストールします。 今すぐダウンロ ド	_
	デバイスに Microsoft Authenticator アプリをインストールした後、[次へ] を選択します。	
	別の認証アプリを使用します	
	キャンセル 次へ	

6、以降の手順は [方法 1] の「4」~「10」をご参照ください。

## 7、正しく実行されると、「認証アプリ」が追加されます。

♀ 概要	セキュリティ情報	
∞ セキュリティ情報	これは、ご自分のアカウントへのサインインやバスワードの再設定に使用する方法です。	
🖻 組織	既定のサインイン方法を設定します	
旦 デバイス	十 サインイン方法の追加	
🔒 プライバシー	<ul> <li>Microsoft Authenticator</li> <li>タ専興総証 (MA)をプッシュする</li> <li>CPH2199</li> </ul>	削除
	記述アプリ     時間ペースのワンタイムノスワード (TOTP)	削除
	☑ 電子メール@ftsafe.co.jp 変更	削除





2023/07/20 更新

- 8、以上で登録作業が完了となります。
- 9、<u>https://portal.azure.com/</u>にアクセスし、ユーザーアカウンとOTPc610より生成されたコードをそ れぞれ入力して、ログインすることができます。

#### 3.2. OTPc610 を利用して AzureAD にログインする方法

上記「3.1 初期設定: OTP c610 の登録(初回のみ)」で OTP c610 を登録後、 OTP c610 で生成されたパスワードを利用して AzureAD にログインします。

1、Azure Portal (<u>https://portal.azure.com</u>) にアクセスし、ユーザーアカウント及びパスワー ドを入力します。

Microsoft Azure	
Microsoft	Microsoft Azure
Hitrosoft Azure を続行 test@代iptest.onmicrosoft.com アカウントをお持ちではない場合、作成できます。 アカウントにアクセスできない場合	Microsoft ← test@fiptest.onmicrosoft.com パスワードの入力
GitHub アカウントでサインイン     GitHub アカウントでサインイン     サインイン オプション	

- 2、利用者のサインイン方法に [Microsoft Authenticator] を設定していない場合は、ステップ 3 に進んでください。
  - ※ 利用者のサインイン方法に [Microsoft Authenticator] を設定した場合は、Microsoft Authenticator が優先的で認証を行い、下記の画面が表示されます。 OTP c610 を利用し てログインする場合は、「Microsoft Authenticator アプリを現在使用できません」を選択し 次の画面で [認証コードを使用する] を選択してください。

	Microsoft
Microsoft	ttt@ftjptest.onmicrosoft.com IDを確認する
test@ftjptest.onmicrosoft.com サインイン要求を承認	Microsoft Authenticator アプリで要求を承認 する
<ul> <li>Microsoft Authenticator アプリを開き、要求を承認してサインインします。</li> <li>Microsoft Authenticator アプリを現在使用できません</li> </ul>	 123 確認コードを使用する
詳細情報	詳細情報 お客様の確認方法は最新ですか? https://aka.ms/mfasetup でご 確認ください
	キャンセル



- 3、認証コードの入力画面が表示されます。
  - OTP c610 で生成された認証コードを確認するため、以下の画面を表示した状態としてください。

Microsoft
← test@ftjptest.onmicrosoft.com
コードの入力
<ul> <li></li></ul>
詳細情報
検証

4、OTP c610 の中央のボタンを 3 秒長押しすると、起動します。 [選択] に対応する中央のボタンを押すと、認証コード画面が表示されます。

(下画像の場合、認証コートは「578830」となります。)



5、PCの認証コード入力画面に、OTP c610 で発行された認証コードを入力し、 [検証] をクリックします。





#### 6、正しく認証されると、AzureADのトップ画面が表示されます。



以上までが OTPc 610 で AzureAD にログインする方法のご説明となります。

## 4. OTP c610 を利用しない場合(バインドの解除)

OTP c610 を利用しない場合は、AzureAD よりユーザーとのバインドを解除します。 ユーザー自身での解除の他、管理者にて強制的に解除することも可能です。 OTP c610 に登録されたアカウント情報も削除する必要があります。 詳細なバインド解除の方法を下記で説明いたします。

### 4.1. ユーザー自身で解除する方法

ユーザーは OTP c610 の利用を停止する場合、下記 2 ステップで OTP c610 のバインドを解除できます。

#### Step1: [マイアカウント]の「セキュリティ情報」より「認証アプリ」を削除

- 1、「マイアカウント」(<u>https://mysignins.microsoft.com/security-info</u>)にアクセスします。 ユーザーID、PWD、OTP c610 より生成されたコードをそれぞれ入力します。
- 2、 [セキュリティ情報] ⇒ [認証アプリ] の右の「削除」をクリックして、削除します。

← C A ttps://mysignins.microsoft.com/security-info						
🔛 自分のサインイン 🗸						
<ul> <li>○ セキュリティ情報</li> <li>□ 組織</li> </ul>	セキュリティ情報 これは、ご自分のアカウントへのサインインやバ 既定のワインインの法: Authenticator アプリまた	スワードの再設定に使用する方法です。 はハードウェア トークン - コード 変更				
旦 デバイス 合 プライバシー	+ サインイン方法の追加 認証アプリ 時間ペースのワンタイムパスワード (TOTP)	>		削除		
	<ul> <li>Microsoft Authenticator</li> <li>多要素認証 (MFA) をプッシュする</li> </ul>	CPH2199		削除		
	▶ 電子メール	°°@ftsafe.co.jp	変更	削除		
	デバイスを紛失した場合 すべてサインアウトして	こください				



OTP c610 に登録されたアカウント情報を削除する手順は下記の通りです。

- 1、 OTP c610 の中央のボタンを 3 秒長押し、起動します。
- 2、アカウント一覧が表示されます。[切替]に対応している左のボタンを押して、削除するアカウントを選びます。
- 3、[選択]に対応する中央のボタンを押すと、該当アカウント情報が表示されます。
- 4、 [削除]に対応する右のボタンを押して、削除してください。



5、下記の通り、削除の確認画面が表示されます。 削除する場合は、 [削除] に対応する中央のボタンをクリックします。 正しく削除されると、 OTP c610 のアカウント一覧画面に戻ります。





管理者は AzureAD Portal 経由で、ユーザーの OTP c610 認証方式を強制的に削除できます。

強制解除方法:

- 1、管理者権限で Azure portal (<u>https://portal.azure.com</u>) にサインインします。
- 2、 [Azure Active Directory] > [ユーザー] > 該当ユーザーを選択します。
- 3、「認証方法」 > 「ソフトウェア OATH トークン」の右側の […] をクリックしてから、 [削除] をクリックします。

	<、サービス、ドキュメントの検索 (G+/)	Σ	Ģ	Û	٢	0	ন্দি	support@ftsat FTJP株式会社 (FTJPTEST	fe.co.jp .оnмi
ホーム > ユーザー > 飛天テスト									
飛天テスト   認証方法 <sup>ユーザー</sup>	<u>L</u>								×
▶ 検索 《	🕂 認証方法の追加 🕴 🖉 バスワードのリセット 🏮 多要素認証の	再登録を	要求する	$\otimes$	多要素	「認証セ	ッションを	取り消す …	
⑦ 問題の診断と解決     ▲	● 以前のユーザー認証方法エクスペリエンスに戻しますか? 戻すには、こちらをク	リックします	†。→						
管理									
💿 カスタム セキュリティ属性 (プレビュー)	認証方法は、ユーザーか Azure AD にサイソイソして SSPR を実行する方法で	9.							
🎝 割り当てられたロール	使用可能な認証方法								
🧟 管理単位	認証方法	詳細	I						
🎎 グループ	電話番号	プライ	(7J E/	ናኅル: +	81 (				
デプリケーション	Microsoft Authenticator		1.5						•••
🍰 ライセンス	ソフトウェア OATH トークン (プレビュー)	06dl	b632b-2	2cc3-4	578-80	8d-0c3	Bb0(	20184	
💷 デバイス								則际	
↑ Azure ロールの割り当て	使用できない認証方法								
🔋 認証方法	認証方法	詳細	1						
トラブルシューティング + サポート	使用できないメソッドはありません。								

4、下記確認画面が表示されます、 [はい] をクリックすると、 OTP c610 の認証方法が強制的に削除 されます。 削除後、ユーザーは OTP c610 での認証ができなくなります。

この ソフトウェア OATH トークン (プレビュー) を削除しますか?					
このユーザーは、この ソフトウェア OATH トークン (プレビュー) を使用して認証することができなくなります。					
はい いいえ					

※ 上記方法で AzureAD の登録方法を削除した後、OTP c610 の内部に格納された登録情報 を手動で削除する必要があります。詳細は [4.1] の「Step2」をご参照ください。



## 5. 運用方法

#### 5.1. ユーザーが OTP c610 を紛失した場合

ユーザーが OTPc610 を紛失した場合は、早急に管理者へ連絡してください。

管理者が AzureAD portal で、紛失した OTP c610 の削除及びユーザーの多要素認証の再登録を 促すことができます。

具体的には下記の流れです。

#### Step1: [管理者] 紛失した OTP c610 の強制削除

管理者は AzureAD portal 経由でユーザーが紛失した OTP c610 を削除します。 ※詳細は、「4.2」を参照してください。

#### Step2: [管理者] ユーザーに新たな OTPc610 を配布、「多要素認証の再登録」を設定

管理者はユーザーに新しい OTPc610 を配布し、ユーザーに多要素認証の再登録を要求します。

[多要素認証の再登録を要求する] 設定方法:

- 1、管理者権限で Azure portal ( https://portal.azure.com ) にサインインします。
- 2、 [Azure Active Directory] > [ユーザー] > 該当ユーザーを選択します。
- 3、「認証方法」>「多要素認証の再登録を要求する」をクリックします。

	、サービス、ドキュメントの検索 (G+/)		D G	₽ ©		support@ftsafe.co.jp FTJP株式会社 (FTJPTEST.ONMI
ホーム > ftjp株式会社   ユーザー > ユーザー	> 飛天テスト					
飛天テスト   認証方法 <sup>ユーザー</sup>						×
	🕂 認証方法の追加 🕴 🔑 バス	ワードのリセット 🟮 多要素認証	Eの再登録を要求す	する 🚫 多要	素認証セッショ	ンを取り消す ・・・
🤽 概要	<ul> <li>以前のユーザー認証方法エクスペ</li> </ul>	リエンスに戻します。戻すには、こちら	をクリックします。 🖃	<i></i>		
監査ログ						
● サインイン ログ	認証方法は、ユーザーか Azure AD に!	717170(SSPRを実行する方法	६ ८७.			
⊘ 問題の診断と解決	使用可能な認証方法					
管理	認証方法		詳細			
🔝 カスタム セキュリティ属性 (プレビュー)	電話番号		プライマリ モ	パイル: +81 💷		
🎝 割り当てられたロール	使用できない認証方法					
🔎 管理単位			E'd dam			
🏞 グループ	認識力法		<b>#</b> 平和出			
■ アプリケーション	使用できないメソッドはありません。					
🔓 F1472	システムが優先する多要素認証フ	法				
デバイス	機能の状態	システムが優先する MFA メソッ	к			
↑ Azure ロールの割り当て	無効	該当なし				
🜻 認証方法						
トラブルシューティング + サポート						

4、その後、ユーザーが AzureAD portal やマイアカウントにサインインする際、多要素認証の再登録が 必須となります。

#### Step3: [ユーザー] 新しい OTP c610 の登録

ユーザーが Azure portal (<u>https://portal.azure.com</u>) やマイアカウント (<u>https://mypro</u> <u>file.microsoft.com</u>) にサインインする際、 [3.1] のように初期設定となりますので、新たに OTP c 610 を登録してください。



#### 5.2. OTP c610 に時刻ズレが発生し、急に認証できなくなる場合

OTP c610 はタイムベースで、一定時間(通常は 30 秒/60 秒)ごとに一時的な認証コードを生成します。 内部に小型のボタン電池を内蔵し、電力を供給してます。

長期間の利用や利用頻度により、電池の消耗又は劣化により電圧低下が発生し、時刻ズレ(内部の時計が進んだり、遅れたりする)が発生します。これにより、OTP c610 で生成された認証コードと認証サ ーバー側で生成されたコードが異なり不一致となるため、認証に失敗します。

[対処方法]

下記手順で OTP c610 のタイムサーバーにアクセスして、OTP c610 の時刻を再設定してください。

- 1、OTPc 610 のタイムサーバー(<u>https://timesync.rakunin.co.jp/</u>)にアクセスすると、QR コ ードが表示されます。
- 2、 OTP c610の [左+中央] のボタンを3 秒長押し起動します。上記 1 のタイムサーバーの QR コードをスキャンして、時刻を再設定します。

※詳細は、『OTP c610利用マニュアル』の [2.6 OTP c610の時刻再設定(時刻同期)] を参照してく ださい。

以上

